

■令和4年12月8日実施 地上型3Dレーザ機器を用いた森林調査の手法 現地検討会－質疑応答

No	質問内容	回答
1	灌木が多いと計測が困難とあるがどの程度までか。	<p>当署でも試行回数が少なく、不確定な点も多いですが、資料にも記載しているとおり、林縁部などの繁茂が著しい場所は特に計測が難しいと感じております。</p> <p>また、下層植生が多い場所では、計測だけでなく機器を持ちながらの移動も困難であると試行の中でわかりました。</p>
2	機器のレンタルの金額については、ソフトウェアも含めた金額なのか教えて頂きたい。	ソフトウェア、PC貸出も含めた金額です。
3	仮にリース契約を終了した後、ソフトウェアや専用のUSBがなければ解析や確認が出来ないのではないのか。	<p>専用USBがなくとも「viewer」というソフトウェアをインストールしていれば確認することは可能です。</p> <p>しかし、解析は専用のUSBがなければ行うことはできません。</p>
4	間伐前と間伐後の表示は可能か。	当署で導入しているソフトウェアでは不可能です。
5	GIS等、他の機器も組み合わせながら活用出来る範囲を拡大して頂きたい。ウォークスルーは災害査定にも活用できそうである。	当署でも検討を進めていく所存です。